

第35回 健康と歯のフェスティバル

～よい歯をつくる親子のつどい～



と き／6月8日(土) 13時45分～15時30分

場 所／市民文化センター

- 催し物／●歯科医師による歯の無料検診・相談
科衛生士による歯磨き指導
- フッ素の入った液でブクブクうがい
む力の測定
 - むし歯のできやすさチェック
 - 肌年齢や脳年齢などの健康機器による測定

5歳児（年長児） むし歯のない児・治療完了児の表彰

対 象／通園先の市内の幼稚園・保育園の歯科検診でむし歯がなかった年長児、または検診後から6月5日(木)までに治療が完了した年長児

※市内にお住まいで市外の幼稚園・保育園に通園しているお子さんも対象です。上記に該当し、表彰を希望される方は6月3日(月)までに健康推進課にご連絡ください。

内 容／健康と歯のフェスティバルの「5歳児賞状コーナー」で賞状と記念品を進呈します。

幼稚園・保育園・学校へ提出してください。

展示期間／6月1日(土)～6月7日(金) 9時～15時
6月8日(土) 9時～15時30分

展示場所／市民文化センター2階 展示室

はちまるにいまる いい歯のお年寄り 8020 コンクール (事前に無料歯科検診が必要です)

対 象／市内にお住まいの80歳以上で20本以上自分の歯がある方（誕生日が昭和8年4月1日以前の方）

内 容／健康と歯のフェスティバルの式典で賞状と記念品を進呈します。

歯と口の健康週間にちなんだ 図画・ポスター・標語

対 象／図 画

▶市内にお住まいの年長児または年長児と保護者の合作

図画・ポスター・標語

▶市内にお住まいの小学生

ポスター・標語

▶市内にお住まいの中学生

応募方法／図画・ポスター

▶B3四つ切りサイズの画用紙に描いた作品を市内の通園・通学している

7020 認定(事前の無料歯科検診が必要です)

対 象／市内にお住まいの70歳以上で20本以上自分の歯がある方（誕生日が昭和8年4月2日～昭和18年4月1日の方）

内 容／健康と歯のフェスティバルの式典で認定証と記念品を進呈します。

- 8020 コンクール・7020 認定の事前歯科検診は、市内の駿東歯科医師会に加入している歯科診療所にご予約のうえ、受診してください。



6月4日～6月10日は 歯と口の健康週間です

ベルの木歯科 歯科医師 鈴木 明彦先生

定期的に歯科医院へ行きましょう

「痛いから」歯科医院へ行くのではなく、「痛くならないために」歯科医院へ行きましょう！

以前、歯医者さんは「痛いことをするいやなイメージ」でした。しかし最近では「口の健康を守ってくれる良いイメージ」になっています。

「口の健康を守ってくれる」とはどういうことでしょうか？定期的に歯科医院に行くと、口の健康状態をチェックして、歯をお掃除します。もし変わったことがあれば早い段階で歯科医師が治します。定期的に歯科医院へ通うことで、口の健康を守れるのです。



定期健診ですること

①むし歯がないか、すみずみまでよく見ます。

大人では、歯肉がはれていないか、歯周病の状態も検査します。

②上手な歯みがきの磨き方を教えます。

自分では磨いているつもりでも、磨けていない部分は必ずだれにでもあるものです。

歯科衛生士がその方それぞれにあった歯ブラシやそのほかの清掃用具を選んでくれます。そして、上手に磨けるように指導します。

③歯をピカピカにお掃除します。

歯磨きでは取れないガンコな汚れを歯科衛生士が特殊な器具や機械で丁寧に落とし、歯をツルツルピカピカにします。

④必要に応じて、歯を強くするお薬（フッ化物）を塗ります。

生えただけの歯は特にむし歯菌の出す酸に弱いので、フッ化物を定期的に塗ることで歯質が強くなりむし歯予防に効果があります。

ま と め

定期健診をすることで、もしむし歯があったとしても、小さいむし歯であれば、痛くなく治せることが多いです。歯周病は初期段階では自覚症状が出ないことが最大の特徴です。自覚症状がなくても検査をすることで自分の状態を知ることができます。早めの対処が大切です。

口の健康を守ることが、全身の健康を守ることにもつながります。是非、家族みんなで定期的に歯科医院へ行きましょう。

